

別記様式（第6条関係）

令和2年4月28日

奥州市議会政務活動費収支報告書

奥州市議会議長 宛

議員氏名 千葉 和彦



令和元年度分の政務活動費の収支を次のとおり報告します。

1 収入

項目	金額	内訳
政 務 活 動 費	144,000 円	@12,000 円×12 月
自 己 負 担	15,435 円	
合 計	159,435 円	

2 支出

項目	金額	内訳
研 究 研 修 費	8,000 円	別紙のとおり
調 査 旅 費	128,135 円	別紙のとおり
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
広 報 費	23,300 円	別紙のとおり
広 聴 費	円	
要請及び陳情活動費	円	
会 議 費	円	
人 件 費	円	
事 務 所 費	円	
合 計	159,435 円	

令和01年度 政務活動費 支出内訳表

議員名	千葉 和彦
-----	-------

項目	整理番号	金額	内 訳
1 研究研修費			
	01-01	5,000	奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟 年会費
	01-02	3,000	市政調査会活動費負担金
	小 計	8,000	
2 調査旅費			
	02-01	79,360	奥和会行政視察旅費（兵庫県播磨科学公園都市、川西市、和歌山県田辺市）
	02-02	2,435	奥和会行政視察経費：秋津野ガルテン
	02-03	46,340	奥和会行政視察旅費（静岡県掛川市）
	小 計	128,135	
3 資料作成費			
	小 計	0	
4 資料購入費			
	小 計	0	
5 広報費			
	05-01	18,900	2019活動報告 ハガキ代
	05-02	4,400	奥和会だより 印刷代
	小 計	23,300	
6 広聴費			
	小 計	0	
7 要請及び陳情活動費			
	小 計	0	
8 会議費			
	小 計	0	
9 人件費			
	小 計	0	
10 事務所費			
	小 計	0	
合 計		159,435	

政務活動費 支出整理票			整理番号	01 - 01
			支出整理日	令和 01 年 06 月 21 日
令和01年度	議員名	千葉 和彦	支出項目	研究研修費

金 額	5,000	円
-----	-------	---

使途： 奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟 年会費

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	年会費	R01-06-21	5,000		5,000
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			5,000	0	A 5,000
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 5,000

備考	

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

NO. 7

領 収 書 千 葉 和 彦 様

★ ¥5,000

但 奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟 年会費として
2019年6月21日 上記正に領収いたしました。

〒023-8501
岩手県奥州市水沢大手町1-1
TEL:0197-24-2111
奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進
議員連盟
会 長 渡 辺 忠

内 訳	5,000円
税抜金額	5,000円
消費税額(%)	0円

収 入

印 紙

政務活動費 支出整理票			整理番号	01 - 02
			支出整理日	令和 01 年 06 月 28 日
令和01年度	議員名	千葉 和彦	支出項目	研究研修費

金 額	3,000	円
-----	-------	---

使 途： 市政調査会活動費負担金

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	負担金	R01-06-28	3, 000		3, 000
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			3, 000	0	A 3, 000
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 3, 000

備考	

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

受 領 書

金 3, 0 0 0 円也

ただし、市政調査会活動費負担金 (@3,000×1人分) として、上記のとおり正に受領いたしました。

令和元年 6 月 28 日

千 葉 和 彦 様

奥州市議会市政調査会

会長 小野寺 重



政務活動費 支出整理票			整理番号	02 - 01
			支出整理日	令和 01 年 09 月 10 日
令和01年度	議員名	千葉 和彦	支出項目	調査旅費

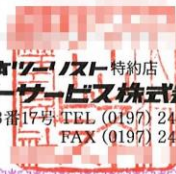
金 額	79,360	円
-----	--------	---

使 途： 奥和会行政視察旅費（兵庫県播磨科学公園都市、川西市、和歌山県田辺市）
 視察日：令和元年8月7日（水）～9日（金）

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	J R 代金	R01-09-10	48,700		48,700
2	貸切バス代金	R01-09-10	17,760		17,760
3	宿泊費（兵庫県姫路市）	R01-09-10	5,900		5,900
4	宿泊費（和歌山県田辺市）	R01-08-08	7,000		7,000
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			79,360	0	A 79,360
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 79,360

備考	

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

領 収 書		No 016137								
千葉和彦 様	令和 平成 元 年 9 月 10 日									
	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>7</td><td>7</td><td>2</td><td>5</td><td>6</td><td>0</td></tr></table>			7	7	2	5	6	0	
		7	7	2	5	6	0			
但し、御旅行代金として、上記正に領収いたしました。										
										
A・B- <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										
近畿日本ツーリスト 特約店 水沢ツーリストサービス株式会社 岩手県奥州市水沢区南町3番17号 TEL (0197) 24-7301 FAX (0197) 24-7312										
		<table border="1"><tr><td>係</td><td>確認印</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></table>	係	確認印						
係	確認印									
										

No: 57759

二 旅行精算書

千葉 和彦様

2019年8月28日

近畿日本ツーリスト 特約店
水沢ツーリストサービス株式会社
〒023-0851 岩手県奥州市水沢南町3-17
TEL(0197)24-7301 FAX(0197)24-7312
代表取締役 高橋幸司

お引立を賜り厚く御礼申しあげます。旅行費用を下記の通り請求申しあげます。

旅行費用総額	¥	72,360	(備考)	2019年8月7日～8月9日
受領金額	¥	-		
差引請求金額	¥	72,360		

旅行費用内訳

項 目	単 価	人 員	金 額	備 考
JR代金	48,700	1	48,700	水沢江刺～相生、新大阪～水沢江刺
現地貸切バス代金	17,760	1	17,760	相生～新大阪(2泊3日)
姫路市宿泊代金	5,900	1	5,900	シングル利用、朝食付
変更取消手数料				
取扱手数料				
合 計			¥72,360	

お振込先 □東北銀行水沢支店 普230522
 □水沢信用金庫駅前支店 普020323
 (口座名義:水沢ツーリストサービス㈱)

☐岩手銀行 水沢支店 普1436578
☐北日本銀行 水沢支店 普3149602

ALTIER HOTEL

アルティエホテル紀伊田辺

〒646-0032 和歌山県田辺市下屋敷町1-77

TEL 0739-81-1111 FAX 0739-81-1112

<http://www.altierhotel.com> Eメール front@altierhotel.com

領 収 証

■ご芳名 千葉 和彦 様

■人数 1名様

■ご宿泊日 2019年8月8日

■ご宿泊数 1泊

■金額 ¥7,000 -

但し、宿泊代と致しまして

2019年8月8日
担当者: 村上 太郎



 ALTIER HOTEL

《令和元年度奥和会視察復命書》

氏名：3番 千葉 和彦

日時：令和元年8月7日～8月9日 3日間

場所：兵庫県スプリング8、兵庫県川西市、和歌山県田辺市

1. 参加者 小野寺隆夫議長、渡辺忠議員、藤田慶則議員、中西秀俊議員、菅原由和議員、高橋浩議員、小野寺満議員、千葉和彦

2. 内 容

【8/7（木）「播磨科学公園都市とスプリング8」】

兵庫県企業庁が管理している播磨科学公園都市とスプリング8（大型放射光施設）を視察しました。播磨科学学園都市では兵庫県企業庁より当初の構想並びに現状について説明をうけた。当初構想では学術研究機関とものづくり産業が集積する未来都市を目指したとの事でしたが、現状では産業用地は87%の売却進捗率となっているものの、住宅用地は計画の1/4にとどまっているとのことでした。目指したのは研究者の町だったが、インターネットの普及により、研究者はここに住まなくてもデータ収集が可能となり、施設周辺に住む意味がなく、施設料するときだけの短期で十分であるということでした。視察した公園都市では広大な居住スペースが分譲されず残っており、残地の維持管理に多大の経費をかけているように思われました。また、中心施設である「スプリング8」については、国内外の産学官に開かれた理化学研究所が運営する研究施設でありました。我々が訪れた時も多くの研究者等が利用しており、また施設見学者も多く見受けられました。今回、当地が誘致を目指しているILCに対し、誘致後の施策等に参考にするため視察したのですが、計画と現状の乖離等大変勉強になりました。ILCが当地に決定した場合は、この先進事例を参考に施策に活かしていきたいと考えます。

【8月8日（金）兵庫県川西市 市立川西病院】

2日目は、兵庫県川西市の市立病院改革について視察しました。市立川西病院は、地域の中核病院として運営されていたが、平成14年度以降赤字経営が続き平成26年度から「経営健全化団体」となり、また、施設の老朽化や医師確保等の問題、一般財政からの繰り入れも限界を迎えたことから、抜本的改革に取り組んだ戸の

ことです。それは、地元医療法人による指定管理制度による運営でした。内容は公設民営の運営で、兵庫県の地域医療構想を踏まえ、指定管理を受ける医療法人の医療内容と市立病院の医療内容を、将来過剰となる急性期医療を統合、整理し、不足している高度医療への切り替えを図るものと説明をうけました。建設にあたっては、整備に係る財源は市が全て負担するが、その返済は指定管理者と折半することとし、また市が負担する50%のうち40%は地方交付税を見込み、実質負担は10%とのことでした。現在本市においても、新市立病院建設が議論されておりますが、川西市の取組事例は十分参考になり、今後本市においても十分議論していくべきものと考えます。

【8月9日（土）和歌山県田辺市 秋津野ガルテン】

3日目は、和歌山県田辺市において「地域づくり」として農業法人が経営する「秋津野ガルテン」を視察しました。

農事組合法人秋津野は、資本金5,180万円、地元住民主体で運営している。廃校跡の活用としてとても参考になった。協働のまちづくりを進めている本市においても、地域住民主体の運営は、今後進められる公共施設の再編計画でも重要なキーワードとなってくると思われ参考にしたいと思った。特に先に進められる観光施設の再編にあったって、非常に参考になると思われる。

以上

《令和元年度 2nd 奥和会視察復命書》

氏名：3 番 千葉 和彦

日時：令和 2 年 2 月 3 日（月）～ 4 日（火）

場所：静岡県掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター

静岡県掛川市「希望の丘」

1. 参加者 渡辺忠議員、藤田慶則議員、中西秀俊議員、菅原由和議員、高橋浩議員、小野寺満議員、千葉和彦

2. 内 容

《2/3 「中東遠総合医療センター設立の経過と運営状況」》

中東遠総合医療センター：医院長 宮地正彦氏 企業団議長 大石氏 経営戦略室長 石野氏

【病院統合の経過】

中東遠総合医療センターは、旧掛川市立総合病院（450 床）と旧袋井市市民病院（400 床）が合併再編した病院で、平成 25 年 5 月に開院した。

行政の壁を乗り越え、それぞれの市民病院が合併再編に至った経緯は、①施設の老朽化により医療の進歩に対応できないという課題、②医師不足と医師確保が出来なくなって、救急医療体制が危機的状況になったこと等の理由により、両市とも単独の建設を模索していたが、単独より再編統合が望ましいと判断し、H18 より「今後の病院のあり方検討委員会」を設置し建て替えについての議論を開始した。

当時の中東遠医療圏は、全ての自治体（5 市 1 町）が公立病院（100～500 床）を運営しており、既存病床は過剰気味であった（当該医療圏には、県立病院等はなく急性期医療等はそれぞれの公立病院が役目を果たしている状況）。そのため、医師を始めとする医療スタッフの確保が年々厳しくなっており、あり方検討会では半年程度で「再編統合」との提言が出された。

これを受け、H19 年 12 月より再編統合に向け「掛川市、袋井市新病院建設協議会」が立ち上がり協議が始まった。当該協議会は、全ての議論を両市民に対して全て公開を基本として運営された。当初、市民や議員からは強い疑問と反対がおきた。「病院が遠くなる」「無駄遣い」など予想を上回る厳しいものだった。しか

し、全ての情報公開をおこなった結果、市民理解が進み両市は一年をかけて統合する決断にいたったことだった。しかし、最大の課題はその建設場所であり、両市では駆け引きが進み、総論賛成、各論反対の状況が続き、一時期は頓挫の可能性もあったとのことだった。しかし、ここで協議会の会長（京都大学教授）が腹を括り、強力なリーダーシップのもと、建設場所選定と対策（道路・アクセス環境）を進め、実現に至ったとのことであった。

開院にあたり、最も困難が予想された医師の確保も、大学の積極的な支援を受け、開院時には 80 人の常勤医師確保も実現することが出来たとのことであった。

（建設費用は 221 億円で、開院時多くの市民が御祝に訪れたそうです。）

【現状の運営状況】

当該医療圏に必要な急性期医療体制も益々整備され、また、研修医制度の申込数も年々増加しているとのことと医療の質・良とも成果が現れており、更には経営状況も改善されている。今年度は経常損益が初めて黒字になる予想とのことであった。地域住民に支持されている状況である。（医師数は平成元年 7 月末 93 人）

《2/4 希望の丘》

希望の丘は、病院移転後跡地活用のため、掛川市が進めたプランであり、福祉に関連する多機能施設を集約したものであった。医療、保険、福祉、介護、教育に関する施設を行政と民間の力を活用し総合的に整備したものである。跡地に全ての機関が集中したことにより、福祉施設のワンストップでのサービス提供が可能になり、健康維持に対するサポートと市民の意識向上に貢献していた。

本市においても、高齢化社会への対応方策として市民に喜ばれこの仕組み作りは大いに参考になるものではないかと感じた。

以上

● 1 日 目 (2 月 3 日 (月))

12:45 13:30 14:00 16:00
 昼食（掛川駅周辺）＝＝＝＝＝中東遠総合医療センター（視察）
 タクシー

16:15
=====ホテル（掛川グランドホテル）
タクシー

● 2日目 (2月 4日 (火))

8:40 9:00 10:30
ホテル=====掛川市「希望の丘」(視察)=====
タクシー タクシー

10:45 13:00 13:15 13:34 15:16 15:36
 掛川花鳥園(視察・昼食) = = = = = 掛川駅 — — — — — 東京駅
 タクシー JR 東海道新幹線

18:25
———水沢江刺駅
JR 東北新幹線

※ 上記行程を予定していますが、当日の交通状況により若干前後する場合があります。

政務活動費 支出整理票			整理番号	02 - 02
			支出整理日	令和 01 年 08 月 09 日
令和01年度	議員名	千葉 和彦	支出項目	調査旅費

金 額	2,435	円
-----	-------	---

使途： 奥和会行政視察経費：秋津野ガルテン

視察日：令和元年8月9日（金）

No.	支出の明細		支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	講演・研修費用		R01-08-09	17, 000		17, 000
2	資料代		R01-08-09	2, 480		2, 480
3						0
4						0
5						0
6						0
7						0
8						0
9						0
10						0
合 計				19, 480	0	A 19, 480
按分の内容		8 人			按分割合	B 1 / 8
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））						C 2, 435

備考	領収書は奥和会共通経費整理票02-01に添付

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

政務活動費 支出整理票			整理番号	02 - 03
			支出整理日	令和 02 年 02 月 20 日
令和01年度	議員名	千葉 和彦	支出項目	調査旅費

金 額	46,340	円
-----	--------	---

使途： 奥和会行政視察旅費（静岡県掛川市）

視察日：令和2年2月3日（月）～4日（火）

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	J R 代金	R02-02-20	37, 240		37, 240
2	宿泊費	R02-02-20	9, 100		9, 100
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			46, 340	0	A 46, 340
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 46, 340

備考	

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

領 収 書		No 016373
千葉和彦 様		令和 平成 2 年 2 月 20 日
収 入 印 紙	¥46340	
但し、御旅行代金として、上記正に領収いたしました。		
近畿日本ツーリスト 特約店 水沢ツーリストサービス株式会社 岩手県奥州市水沢区南町3番17号 TEL (0197) 24-7301 FAX (0197) 24-7312		確認印
A・B-		

02 — 03

No: 58457

二 旅行代金精算書

令和2年2月18日

千葉 和彦 様

近畿日本ツーリスト 特約店
水沢ツーリストサービス株式会社
〒023-0851 岩手県奥州市水沢南町3-17
TEL(0197)24-7301 FAX(0197)24-7312
代表取締役 高橋 幸司

社長

相当者

お引立を賜り厚く御礼申しあげます。旅行費用を下記の通りご精算申しあげます。

旅行費用総額	¥	46,340
--------	---	--------

(備考) 令和2年2月3日～2月4日

受領金額

静岡県掛川市

視察

差引請求金額	¥	46,340
--------	---	--------

旅行費用内訳

[illegible]

お振込先 □東北銀行水沢支店 普230522
 □水沢信用金庫駅前支店 普020323
 (口座名義:水沢ツーリストサービス㈱)

口岩手銀行水沢支店	普1436578
口北日本銀行水沢支店	普3149602

(奥 州 市 議 会)

政務活動費 支出整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 01 年 12 月 24 日
令和01年度	議員名	千葉 和彦	支出項目	広報費

金 額	18,900	円
-----	--------	---

使途： 2019活動報告 ハガキ代

No.	支出の明細		支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	活動報告ハガキ代	300枚	R01-12-17	18,900		18,900
2	活動報告ハガキ代	300枚	R01-12-24	18,900		18,900
3						0
4						0
5						0
6						0
7						0
8						0
9						0
10						0
合 計				37,800	0	A 37,800
按分の内容		政務活動の使用割合による按分			按分割合	B 1 / 2
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））						C 18,900

備考	経費は議会活動等の報告又はPRに係る使用割合を勘案して1/2の額
	を計上した。

領収書貼付欄 (貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと)

領収書	
千葉和彦 様	
[販売]	
通常葉書インク (63円)	
63円 300枚	¥18,900
小 計	¥18,900
課税計 (10%)	¥0
(内消費税等)	¥0
非課税計	¥18,900
合計	¥18,900
お預り金額	¥20,000
おつり	¥1,100



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2019年12月17日 15:48
担当: 松戸 風音
発行No. 191217J3522 端N53箱01
連絡先: 水沢郵便局
TEL: 0570-943-021

郵便局からのお知らせ

**2019年10月1日(火)から
郵便料金などが変わりました。**

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを
変更させていただきました。
詳しくは、日本郵便株式会社Webサイトを
ご覧いただくか、お近くの郵便局にお尋ねください。

郵便 15:51

領収書	
千葉和彦 様	
[販売]	
通常葉書胡蝶蘭インク (63円)	
63円 300枚	¥18,900
小 計	¥18,900
課税計 (10%)	¥0
(内消費税等)	¥0
非課税計	¥18,900
合計	¥18,900
お預り金額	¥20,000
おつり	¥1,100



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2019年12月24日 12:22
担当: 佐藤 雅人
発行No. 191224J7317 端N24箱01
連絡先: 姉体郵便局
TEL: 0197-26-2905

郵便局からのお知らせ

**2019年10月1日(火)から
郵便料金などが変わりました。**

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを
変更させていただきました。
詳しくは、日本郵便株式会社Webサイトを
ご覧いただくか、お近くの郵便局にお尋ねください。

郵便 15:51

奥州市議会議員

千葉和彦の

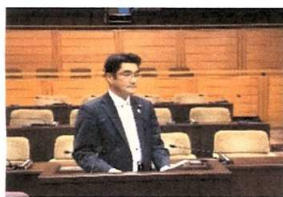
2019年活動のご報告

昨年1月に父・康雄が亡くなり、もうすぐ1年が経ちます。

父が遺した、たくさんの皆様との繋がりの大きさ、深さをあらためて感じさせられた毎日でした。ここに改めて、父に対する皆様のお心遣いに感謝申し上げますと共に、これからも変わらずお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

さて、私も一昨年議員に初当選し1期目の任期も早2年目が経とうとしております。この間、地域の声を市政に反映し地域課題を解決していくという姿勢で活動してまいりました。議会では産業経済常任委員会に所属し、特に奥州市の基幹産業である農業については、様々な農政課題を学びながらその課題解決に向け取組んで参りました。

現在、奥州市では少子高齢化・人口減少や公共施設の再編問題等、多くの市政課題を抱えておりますが、10年後・20年後の住みよい奥州市をつくるため「初心忘れるべからず」を胸に、皆様から頂いたお一人おひとりの声を大切に、一緒になって活動して参りますので、今後とも宜しく願い申し上げます。



(所属委員会)

- 産業経済常任委員会
- 議会改革検討委員会
- 新市立病院建設調査特別委員会(幹事)
- 議会広報委員会

〒023-0841

岩手県奥州市水沢真城字土手24番地3

千葉和彦

2020年1月



年賀のご挨拶を申し上げるべきところですが、公職選挙法の関係上、活動の報告といたします

政務活動費 支出整理票			整理番号	05 - 02
			支出整理日	令和 01 年 12 月 27 日
令和01年度	議員名	千葉 和彦	支出項目	広報費

金 額	4,400	円
-----	-------	---

使途： 奥和会だより 印刷代

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	印刷代（@80×50部×1.10）	R01-12-27	4,400		4,400
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			4,400	0	A 4,400
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（（按分がない場合はA再掲））					C 4,400

備考	
----	--

領収書貼付欄 (貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと)

No. _____		領 収 証		印 紙	
千葉和彦 様					
令和 1 年 12 月 27 日		金額		係 印	
		千 百 拾 万 千 百 拾 円			
		94400			
		但し 葉和会だり 50部			
		上記の金額有難く領収致しました			
種 別	金 額	摘 要			
入金・小切手					
金 約 手					
内 相 殺					
振 込					
消費 税					

この領収証で係印の無いものと並びに金額を訂正してあるものは無効です。


あべ印刷株式会社
 代表取締役 阿 部 由起男
 〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東 4-1-1
 TEL (0197) 24-8365
 FAX (0197) 24-8330

No.6



奥和会だより

〔発行責任者〕 奥和会会長 渡辺 忠 〔発行日〕 令和元年12月27日

挨拶



奥州市議会会派
奥和会 会長
渡辺 忠

市民の皆様には、日頃より奥和会に對しまして御指導、御愛顧を賜わり誠にありがとうございます。

さて今年には台風等の災害が発生し、被災者の皆さまには心より御見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。昨今の災害は、いっどこで発生するかも知れ今後大

「議会改革の旗手として」



奥州市議会 議長
小野寺 隆夫

この度、奥和会機関紙「奥和会だより」第六号の発刊にあたり、拙稿ながら一文寄せさせていただきます。

奥州市議会では、現在議会改革の取り組みを進めています。その第一は、市民に開かれた議会の実現です。情報公開はもとより、より市民に親しまれる議会を目指しています。議会の役割として、行政監視や牽制機能だけに固執してしまうと、とかく行政の上げ足取りだけに神経を使ってしまう危険性があります。議会は二元代表制の一翼を

きな課題であると思っております。こういう時こそ、ラグビーチームで話題になりました。ワンチーム。になって皆さんで心を合わせ対策を講じることが課題であり、安全、安心の街づくりだと思います。我々奥州市議会会派、奥和会。としましては、ワンチームの気持でもってお互いに力を合わせ、前に進む新しい年にしたいと思っております。

今後とも、市民の皆様の御指導をお願い申し上げます。挨拶とい

「一般質問の状況」

二〇一九年開催された四回の定例議会における、奥和会メンバー一般質問の状況

2月定例議会

菅原 由和議員

- 都市計画について
- カヌーによる地域振興について

高橋 浩議員

- 小中学校の伝承活動等について
- 小中学校におけるトイレ環境の整備について
- 小中学校教職員の増員について

千葉 和彦議員

- 六次産業化の支援のあり方について（答弁者…市長）
- 災害時受援体制の整備について

6月定例議会

渡辺 忠議員

- ILC誘致実現について
- 農業振興ビジョンの取組みについて

藤田 慶則議員

- 所有者不明土地について
- おうしゅう地産地消わくわく条例の取組みについて
- 人口プロジェクトについて
- 奥州宇宙遊学館と国立天文台について

9月定例議会

高橋 浩議員

- 森林環境譲与税について

藤田 慶則議員

- ふるさと納税について
- 歴史遺産について
- 公共施設等総合管理計画について
- 梁川バイパスの整備に伴う市の対応について

千葉 和彦議員

- 農業担い手支援策について

小野寺 満議員

- 福祉対策について

今後の市の発展の為に!!



渡辺 忠雄
(奥州市出身)

先般、病院の再編、統合の検討が必要だと厚労省が公表し、公的病院リストが波紋を広げています。

今後高齢化が進む上で医療や介護のニーズは増える一方で医師や看護士など医療現場で働く人材が不足していることも大きな課題となっている。

水沢病院の新築構想も色々と課題となっているが、市の将来を考える時に安心して暮らせる為にも必要不可欠である。今後の人口減少を考える時こそ、医療体制をしっかり確保されることも人口増加に關係してくると思う。更に、地域医療、公的病院のあり方は我々住民が自ら決めていくことだと思ふ。

もちろん大事なことは、地域医療は民間病院の機能と合わせて考えるべきであり、一体となって奥州市の医療の方向性を決めていく時だと思ふ。議会も当局と一体となり早い時期に医療体制を構築することだと思ふ。

又、奥州市には抱えている課題も沢山ある中で、①空き家対策、②農業の人手不足、③人口減少問題、④福祉事業の促進等、重要な課題に取り組む施策の展開が強く求められている。

更にはILC誘致問題も大きな課題であります。先般仙台で各国から関係者が出席され誘致活動を中心とした今後のまちづくりについてのセミナーが開催されました。年明けには、国として何らかの進展がみられるとの話題はありました。

が、いずれ誘致にむけての活動は更に深いものがあると期待するところでもあります。

今後とも課題解決しながら、人口減少対策をしつかりと打ち出し、若い人達が地方を見る目が違ってくる住民自治の確保が今、強く求められていることに注目し、対応を考えた施策を実現していきたい。



松田 重則
(奥州市出身)

令和の時代

昭和は戦争の時代・平成は災害の時代ともいわれました。そして、

令和の幕開けは、台風一九号による豪雨災害。全国で九人が亡くなり、三人が行方不明。堤防決壊は七一河川・一四〇か所。土砂災害は二〇都府県で八二二件。住宅被害は八万七千余りともいわれています。亡くなられた皆様、被害にあわれた皆様にはご冥福をお祈りし、お見舞いを申し上げます。

奥州市においても床上浸水・市道の被害・農作物・農業施設等に被害を受け、避難された方々は全体で七四四名でした。我が家においても、屋敷林が倒れました。屋敷林は散居集落のシンボルでもあり、昔は防風林の役目を果たしたのだらうが、台風直後には、屋敷林を切る方々も増えたようでした。

稲作においては、温暖化による出穂期から登熟期における高温と、地力の低下により乳心拍米が多発し、等級が低下しました。

新築を予定していた奥州南学校給食センター(仮称)の建設地が洪水浸水想定区域内にあり建設場所が見直しされます。台風・ゲリラ豪雨等異常気象によりまちづくり・コメ作りにも影響があることと思ひます。天の恵み・天の災い、令和はどんな時代となるのだろうか・・・。

高齡者を考えると同時に、新しい世代のことも視野に入れないと、日本は衰退してしまうといひます。人口構造で逆ピラミッド化からくる社会バランスの不安定さは、すでに目の前にきている問題です。

これまで、小中学校のすし詰め教室、高度成長期と都市の過密化、世帯数増加からの住宅問題、年金問題・・・。

一方、若い世代の都市集中には、地方での過疎化問題に伴い、世代別人口の不均衡は高度成長期にすでに始まっていたのです。



中西 秀俊
(江刺市出身)

子育て世代が住みたいまちを目指して

高齡者を考えると同時に、新しい世代のことも視野に入れないと、日本は衰退してしまうといひます。人口構造で逆ピラミッド化からくる社会バランスの不安定さは、すでに目の前にきている問題です。

これまで、小中学校のすし詰め教室、高度成長期と都市の過密化、世帯数増加からの住宅問題、年金問題・・・。

一方、若い世代の都市集中には、地方での過疎化問題に伴い、世代別人口の不均衡は高度成長期にすでに始まっていたのです。

結婚問題や過疎化による小中学校の統廃合、さびれた商店街、第一次産業の後継者不足問題は、全国各地で見られる課題です。

このような背景からしだいに、次の世代に関心が集まりますが、核家族化や子どもを産まなくなつた若い層に、打つ手が定まらないといひます。危機感がなく、余りにも目を向けてこなかったからではないでしょうか。

提案として、総合母子保健センターがあり、お産を取り巻く環境、妊娠から子育てまで切れ目のないサポート、産科医の招聘にかかわる課題から産後ケア施設の整備などの後押しが必要に思ひます。

子育て世代が不安なく子どもを産み、育てられる社会をつくりあげていくことが、特効薬のない少子化対策の、ひとつの突破口になつてくれることを願っています。



菅原 由和
(大田町出身)

「チーム議会」として更なる改革を

今、全国の地方議会では、議会の改革の取り組みが積極的に行われています。これは、二〇〇〇年に施行された地方分権一括法や地方自治法の改正により、地方主権が本格化したことに伴い、地域経営に貢献する議会としての役割が飛躍的に高まったことによるものです。

議会改革の第一の目的は、市民に開かれた議会を実現し、住民福祉の向上に寄与することであり、議会の仕組みを変え、機能強化や

活性化を図っていくことであります。

この間、奥州市議会でも議会改革検討委員会等において様々な検討が進められ、情報発信の拡大や政策提言等の取り組みが行われてきました。六月に発表された早稲田大学マニフェスト研究所の二〇一八年度議会改革度ランキングでは、全国六八位と前年度の三九六位から大きく順位を伸ばし、着実にその成果が表れてきているものと思っております。

これまでの議会の役割は、行政のチェック機能・監視役と言われてきました。しかし、これからは地域課題を解決する議会、住民福祉の向上に寄与する議会となり、議員単体の議会活動ではなく議員総体の議会活動が重要で、議員、事務局職員、市民が一体となった総力戦だと言われております。

ラグビー日本代表と同様「ONE TEAM (ワンチーム)」となり、正に「チーム議会」として議会の最高規範である議会基本条例の検証と見直しをはじめ、政策サイクルの構築等の改革を更に進め、山積する市政課題に果敢に立ち向かって参りたいと強く決意をしております。



千葉 和彦
(水戸県出身)

「初心忘れるべからず」

時代は平成から令和に年号が変わり新たな時代を迎えました。平成の三〇年間はバブル経済崩壊等による経済の低迷からはじまり、人口減少や少子高齢化といった問題が顕在化し、更には頻発する災害やIT社会の進展等、私たちの生活環境が大きく変わっていった時代でした。新たな令和という時代が、私たちに与える本当に良い時代の幕開けになれば良いと思っております。

さて、一昨年議員に初当選し一期目の任期も二年目が経とうとしております。この間、地域の声を市政に反映し地域の課題解決をしていくという姿勢で議員活動をしてまいりました。議会では産業経済常任委員会に所属し、特に奥州市の基幹産業である農業について、この一年間様々な農政課題を学びながら課題解決に向け取組んで参りました。お陰様で、奥和会では経験豊富な諸先輩が多く、様々な市政課題について日々学ぶことができ、議員活動に大きく役

立っております。

現在、奥州市は少子高齢化・人口減少や公共施設の再編等、多くの市政課題を抱えておりますが、一〇年後・二〇年後の住みよい奥州市をつくるため「初心忘れるべからず」を胸に、市民皆様からいただくお一人おひとりの声を大切にし、その課題解決に向けて丁寧に向き合い、まじめに取組んで参ります。



高橋 浩
(江崎県出身)

賑わいの復活

議員生活も二年を迎え、忙しく活動して居ます。議会では、建設環境常任委員会を始め四つの委員会、一連盟に所属するほか、奥州金ヶ崎行政事務組合議員として、用水供給事業、衛生センター・消防運営等に携わり勉強しております。

二月定例会では、学校の伝承活動と職員体制、八月は森林譲与税を、引続き質問しました。今後の奥州市は少子高齢化を迎え、人口増加は厳しいと捉えます。増えなければ人を呼込む事、色々な仕掛けを考え交流人口を増やし、活性

化を図る事が必要と考えます。当

市は沢山の自然と森林が有ります、森林税を活用した、都市交流も可能です。奥州市は、マラソンやカヌーを通じ対外的な発信を続けて居ます。農業も活用出来ます。多くのヒントと資源があります。今後の市政状況は厳しい状況が予想されますが、守るべき物は守り、育てるべき物は育てつつ、市民からの声に耳を傾け、現状を正確に伝え理解を得る事も議員としての仕事と感じています。今後諸問題の解決には市民の皆様の理解と協力が必要です。令和を迎え改めて奥州市の将来を考え、行動出来る議員にならなければならないと感じています。今後も積極的活動を続けますので皆様の御指導を、御願ひ申し上げます。



小野寺 満
(水戸県出身)

誰もが等しく暮らせる奥州市に

奥州市は、障がいのある人もない人も誰もが等しく家庭や住み慣れた地域で生活し、お互いに人間として尊重し合えるまちづくりを

目指し、第二期奥州市障がい者計画を策定し、平成三〇年度から平成三十七年度まで八年間、この計画に基づき推進中です。

しかし、今年開催した二回の市民と議員の懇談会では、「仲間づくり差別のない地域づくり」、「障がいのある人でも働ける環境づくり」、「障がいのある人に対応した医療体制・介護体制の構築」など多くの意見が市民の皆さんから出されました。

現在、障がいのある人の雇用・就労の窓口は、公共職業安定所や胆江障害者就業・生活支援センターをはじめ、関係機関団体が連携を図り行っていますが、特に、就労支援事業施設に入所している知的障がい入所者の就業の現状は、働く職場がなかなか見つからない状況にあります。

そこで私は、「障がい者就労支援センター」設置をし、雇用の拡大と就労による障がいのある人の自立を促進すべきと考えます。

奥州市は、市民に対し様々な施策を講じ、推進する必要があると思っております。

行政視察報告

令和元年八月七日(水)～九日(金)の三日間の日程で、奥和会所属議員七名に、小野寺隆夫議長を加えた八名にて、先進事例への取組等について行政視察を実施致しました。

八月七日(木) 兵庫県佐用郡佐用町 「播磨科学公園都市」

Spring8 大型放射光施設。電子を加速・貯蔵するための加速器群と発生した放射光を利用するための実験施設見学。



八月八日(木) 兵庫県川西市 (人口二五三、七二八人)

- 市立川西病院の改革
(仮称)市立総合医療センター整備事業
②市立病院と民間病院の統合
③指定管理者制度の導入



八月九日(金) 和歌山県田辺市 (人口七三、二三三人)

- 秋津野フルテン
(農業法人株式会社安芸津野)
地域づくりと六次産業化
(グリーンツーリズムによる都市と農村の交流)



編集後記

全国市議会議長会より「議員表彰」が行われ、奥和会から藤田慶則議員、中西秀俊議員が、議員一五年以上の表彰を受け六月二十六日、六月定例会において表彰状が伝達されました。

藤田議員は胆沢議会、中西議員は江刺議会と奥州市合併前から議員を続けられ、広域合併等々を経て、永きに渡り議事を牽引して参りました、その御苦労に敬意を表すると共に、益々の御活躍を御期待申し上げます。

平成から令和と元号が変わり、新たな時代を迎え、奥和会も益々張切つて居ります。奥和会だよりは、第六号の発行となりました、今後も会派の活動等紹介して参りますので宜しくお願い致します。

(高橋 浩)

奥和会メンバー
会長 渡辺 忠 (胆沢)
副会長 藤田 慶則 (胆沢)
副会長 中西 秀俊 (江刺)
幹事長 菅原 由和 (水沢)
会 計 千葉 和彦 (水沢)
事務局 高橋 浩 (江刺)
監 事 小野寺 満 (水沢)